



宇宙

Vol.58

●題字は深町正喜氏



屋久島のこだま (小南達矢氏撮影)

■ 新年あいさつ	2	■ 平成25年銀河ふれあい運動会	5
■ 病院学会	2	■ 屋久島・鹿児島旅行	6
■ 院内研修	3	■ ドッジビー大会	7
■ 聖陵会忘年会	3	■ 花月クリニックバス遠足	7
■ 力士慰問	3	■ クリスマス会	7
■ 草刈り清掃と、花壇の花の植え替えと クリスマスイルミネーション飾り	4	■ 日田散歩 ④	8
■ 千年あかり点火ボランティア	4	「地球の裏側で」	
■ ストリーム入所者運動会	5	■ 2013年 聖陵会総まとめ	8
		■ 編集後記	8

新年のご挨拶

2014年。明けましておめでとうございます。

昨年は、2020年のオリンピックが東京に決まり、数年来の夢が叶って新年を迎えることができました。7年後のオリンピックを見たい為に長生きする高齢者が増えて、日本の平均寿命が延びるのではないかと思います。日本中に希望が満ちている中の新年です。また、日本経済も上向きの様で、久しぶりに夢と希望を取り返した新年と思います。本年はより将来に希望の持てる1年になることを祈っています。



ところで、今年は午年だそうです。私自身の趣味(本業)は馬術です。約20年前、福島第一原発のすぐ近くで国体があった時、福岡県から出場し、中障害で7位でした。もう一度、国体出場するのが私の今後の夢です。

身近にも馬がいます。聖陵会で飼育している日田市高瀬(通称モトカワ牧場)の馬・ヤギ・ニワトリに会いに行っておあげてください。みんなで可愛がる年にしましょう。

また、最近の病院業務はとても忙しく、余裕のある診療ができない状態です。「その忙しさの中で、少しでも余裕のある診療を行っていくこと」を、今年の私の抱負したいと思います。

皆様の新年が良い年になる様祈って、新年の挨拶とさせて頂きたいと思います。

聖陵岩里病院 院長 山田和典

病院学会

10月17日別府ビーコンプラザで行われた大分県病院学会に岩里病院看護部から8名で参加しました。

5会場に分かれて、一般口演およびポスター発表は166題で活発な論議が展開されていました。私たちは、『安楽なポジショニングとは何だろうか?』という演題でポスター発表を行いました。医療に携わる私たちがより良い看護を患者さんに提供できるよう今後も学会に参加し知識を深めたいと思います。

岩里病院 財津悦世



院内研修

11月16日土曜日、岩里病院では病院全職員対象に院内研究発表会を開催しました。

今回で7回目となり、医療安全を中心に各部署での取り組みや業務改善で効果があったことなどを発表しました。

司会はりハビリの重石さん、座長は山田隆史先生で進行されました。

岩里病院では、今後もよりよい医療を患者さんに提供できるよう勉強にも頑張りたいと思います。

岩里病院 看護師長 樋口京子



聖陵会忘年会

12月7日(土)、マリエールオークパインにて、平成25年度聖陵会忘年会を行いました。今年もゲストの方をお招きし、総勢224名の賑やかな会となりました。今年の余興は部署対抗歌合戦!! 職員が全7チームに分かれて歌や踊りやものまねなどなど創意工夫を凝らした出し物で競いました。

優勝はアイドルとヲタ芸で体を張って楽しませてくれたストリームデイケア・銀河・託児所メー



テル・訪問介護チームでした。

会の最後は、理事長とストリーム非常勤医の井野Drが中国旅順の工科大学予科校歌を披露してくださいました。今年もとても盛り上がった楽しい忘年会でした。

聖陵ストリーム 伊藤妃登未

力士訪問



岩里病院とストリームに11月28日、片男波部屋の力士が慰問に訪れ利用者と交流を深めました。

毎年九州場所が終わり、日田の幼稚園などをまわり慰問に来て下さいます。

今回も玉鷲関を初め6名も来て頂きました。ぶつかり稽古の披露に始まり、職員相手の相撲、託

児所の子供たちを抱っこしたりととても楽しいひと時を過ごせ、みんなに元気をもらいました。

聖陵ストリーム 金古 円



施設美化委員会活動報告

12月1日(日) 岩里病院と聖陵ストリームにて、草刈り清掃と、花壇の花の植え替えとクリスマスイルミネーション飾りを実施しました。

施設美化委員会の職員をはじめお子さんも加わり総勢41名が参加し、全員で約1時間半かけて、小雨の降るととても寒い中でしたが皆で力を合わせて草刈り清掃と花壇にパンジーを植えることが出来ました。その後、ストリームの正面玄関にイルミネーションの飾りつけを行いました。花壇や駐車場、玄関周囲がとても綺麗になり心地よい疲労感と共に達成感を得ることが出来ました。

草刈り・花植え係は、5月の観光祭前にマリーゴールドとポチュラカを花壇に植え、草刈り清掃を行い、7月には、ストリームで行う夏祭りの前に草刈り清掃を行います。皆様、岩里病院・ストリームへお越しの際はぜひご覧頂けると嬉しく思います。

施設美化委員会
神川哲朗



千年あかり点火ボランティア

天領だった江戸時代の面影が残る日田市で、11月8・9・10日『千年あかり』が開催されました。『千年あかり』は、平成17年より、里山を荒らす竹を伐採して灯籠を作り、地域おこしにつなげようと、「日田天領祭り」の夜のイベントとして始まりました。水環境委員会でも、この趣旨に賛同

し『点火ボランティア』に3名参加してきました。国指定伝統的重要建築物保存地区指定の豆田町を流れる花月川を中心に3万本程の竹灯籠が見る人を幽玄の世界へと誘い出します。

当日の夕方、4時半頃から点火が始まり、地域の方や高校生、家族連れなどボランティアの方々や竹灯籠の中のろうそくに点火して行くわけですが、なかなか難しく、中の芯を立ててもらったり

してドンドン火を灯していきます。当日は、天候に恵まれ暖かく日が暮れていくと同時に、その明りが感動に変っていきました。豆田の古い町並みの各所に光のオブジェが展示され様々なイベントも実施されます。来年は、竹の伐採などにも関わっていただけると幸いです。

水環境委員会 小西勝子



～ストリーム入所者運動会～

3階運動会

11月13日、ストリーム3階旧館・ユニットの入所者合同で運動会を行いました。赤組・白組とに分かれ、ハチマキを巻くと皆さん気合が入るようでした。パン食い競走では、パンめがけて一生懸命車イスをこがれたり、口で取ることに苦戦されていましたが、取れた後はとてもいい笑顔を見せていました。最後に玉入れを行い、大盛り上がりの中、一点差で赤組の勝利でした。本当に楽しい時間となりました。



聖陵ストリーム 梅田香織



2階運動会

11月20日にストリーム2階旧館・ユニットに入所されている総勢50名の方の参加により、“秋の大運動会”が開催されました。準備体操を経て、2階の最高齢101歳の方による選手宣誓で開幕！赤組・白組に分かれて、毎年恒例のパン食い競走や玉入れ、物送りリレーの3種目の競技が行われました。入所者さんと職員の合同競技のリレーでは、観客席から「〇〇さん、頑張れー!!」と大きな声援が飛び交っていて、入所者さんと職員の一体感を感じました。皆さん、身体が自由に動く方ばかりではありませんが、入所者の方同士で協力したり、職員のサポートもありながら、最後は白組の勝利となりました。勝った喜びと負けたけど楽しかったという笑顔で、賑やかで楽しい運動会を終えました。

聖陵ストリーム 加隈里美

～平成25年 銀河ふれあい運動会～

11月17日(日)日隈小学校の体育館をお借りして、銀河ふれあい運動会を行いました。当日はとても寒く小雨の天候でしたが、子供たちとご家族の総勢105名の方が参加して下さいました。

今回、体操のせいまお兄さんにも参加していただき、リズム体操や親子体操、各競技のデモンストレーションをやってもらいました。せいまお兄さんの元気な声と機敏な動きに驚かされ、子供たちも楽しそうに体を動かされていました。親子競技では、子供以上に、お父さん、お母さんの方が本気モードとなり、子供をおんぶして全力疾走。子供が乗った台車をロープで引っ張りながら走り、コーナーで振り落とされそうになったり、ハラハラしながら応援して



いました。ご家族が心配そうに見守る中、子供たちの一生懸命に競技を行う姿が印象に残っています。

今回の運動会では寒い中、ケガ人も無く楽しく運動会を行うことが出来ました。参加していただいた皆様また、ボランティアの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

聖陵ストリーム 後藤智明

屋久島旅行

10月13日(日)から2泊3日の予定で屋久島旅行へ行きました。ベテランDr小南先生筆頭に、総勢34名、日田を出発し、バスとフェリーを乗り継ぎ、屋久島へ。

メインは2日目、縄文杉登山と白川雲水峡の2コースに分かれて出発!

縄文杉登山組は22名、4:30出発。皆、気合の入った格好でバスに揺られて登山口へ…。まずはトロッコ道を、もくもくと歩いていきました。

ハプニングはつきもので、道中、桑原事務長の靴底がパクパク音が鳴るようになりました。致命傷かとおもわれたその時、登場! 外科医、小南隊長。ザックからガムテープを取り出し事務長の靴を治療。『さすが』スーパーDr。気を取り直して、進みます。

心臓破りの急な階段を登り、ウィルソン株や、夫婦杉に見送られ、約5時間半をかけ、念願の縄文杉へ到着! 樹齢2170~7200年の圧倒的な存在感を放つ大きな老木です。なんともいえない爽快感と達成感がありました。雨の多い屋久島と聞いていましたが、雨に降られることもなく、仲間が

いたから頑張れた。そんな楽しい登山となりました。

そして今回、想定外だったのが最終日3日目、台風26号の影響で帰りの船が全便欠航となった事です。1日延泊せざるを得ず、『長』のつく方々は勤務調整のため、冷や汗かいたことと思われます。ハプニング続きの旅でしたが、思いがけない3泊4日、忘れられない楽しい時間となりました。

岩里病院 音成潤子



鹿児島旅行

10月19日(土)から1泊2日、「鹿児島・えびの高原」へ約33名で研修旅行に行きました。

往路は久留米から九州新幹線さくら541号に乗り、鹿児島まであっという間の道中でした。

ふるさと維新館では幕末の志士達の活躍を学び、リアルな「西郷どん」にも会うことができました。昼食後はフェリーで桜島へ渡り、湯之平展望所へ。すぐそばで見る噴火の痕は迫力満点でした。展望所からフェリーへ戻る車中で桜島が噴火し黒煙が立ち上がりました。ですが、畑で農作業されている地元の方は平然と作業を続けていて、慣れた様子がかげえました。長年桜島とともに生きている方々だと感じました。

2日目はえびの高原池めぐりのトレッキングです。登山道に等しい山道を登っていき、途中苦しくなることもありましたが、目的地の二湖パノラマ展望台に到着すると、湖水がエメラルドグリーン美しい六観音御池と白紫池を見渡すことがで

きました。下山途中、しっかりと装備を身に付けた20人くらいの70歳代と思われるパーティが、元氣よく挨拶を交わしながら登山されていました。70歳代の体力が過去最高という報告も間違いのないと思えました。

今回はお天気に恵まれ、心身ともにリフレッシュできる楽しい旅でした。

聖陵ストリーム
草本美由紀



ドッチビー大会

10月26日、中城体育館にて聖陵会ドッチビー大会が開かれました。「ドッチビー」とは布製のフリスビーを使って行うドッチボールのような競技で、聖陵会では去年に続いて2回目の開催でした。岩里病院、聖陵ストリーム、花月クリニックそれぞれの師長3人による選手宣誓で気合は十分。6つのチームに分かれた総当たり戦で、白熱した試合が繰り広げられました。試合待ちの職員や応援に来てくれた子どもさんたちからも黄色い声援が飛び交いました。普段は運動不足気味ですが、周りの熱い雰囲気には押し寄せ、しゃがんで飛んで必死に逃げて…翌々日にはしっかり筋肉痛にも苦しめ



られました。体を動かしリフレッシュすることができました。普段はなかなか会うことのない他施設の職員とも交流でき、有意義な時間となりました。

聖陵ストリーム 高瀬麻美

～花月クリニックバス遠足～

11月17日(日)に花月クリニックの日帰り旅行に参加しました。毎回、患者さんが楽しみにしている旅行ですが、今回は津久見でマグロづくしの料理を食べました。そこでは、珍しいマグロのかぶと焼きを頂きました。その大きさに患者さんも驚いて喜ばれました。その後、佐伯の平和祈念館やわらぎへ行き、佐伯航空隊について勉強してきました。

次に、さいき海の市場に行って買い物を楽しまれて、帰りました。日頃、遠くへ旅行に行きたくても行けないから、今日は本当に楽しかったと喜びの言葉もいただき参加した私もあったかい気持ちになりました。



聖陵ストリーム 金子美穂

クリスマス会

12月23日、ストリームにてクリスマス会が開催されました。

入所・通所の利用者様、ご来賓の皆様、寒い中たくさんご出席くださりありがとうございました。今年のテーマは『ソユーズ～一人一人の大きな光のパワー～』でした。会場内は宇宙船や色とりどりのクリスマスツリーなどが飾り付けられ、皆様のおかげで明るい賑やかなク



リスマス会となりました。

イベントは日田高チア部、託児所メーテルの踊り、日田もりあ下駄いの下駄でのタップ、久留米より参加して下さったゴスペルなど、とても盛り上がりました。そして天領歌謡会の皆さんの踊りに、皆さん腹を抱えて大笑いされていました。

最後はサンタが登場し、子供達や利用者様にプレゼントを配ってくれました。

また来年のクリスマス会も楽しみにして下さい。

聖陵ストリーム 小西勝子





地球の裏側で

梶原 義 則

携帯電話が鳴った。「オーイシです」。野太く、張りのある声。大石昭忠さん(71)。元日田市長3期。昨年11月のことだ。

「いつ、帰ってきたんですか」。声が近くて明瞭だったせいか、そう聞き返した。「いや、アルゼンチンのサルタ市からだよ」

市長当時の2006年に稼働した市バイオマス資源化センターに関する情報だった。「九電に全量売電を始めた。知ってる?」。知らなかった。早速、大きく報じた。しばらくして、大石さんとはメル友の森山保人市議が、大石さんの伝言を伝えてきた。「ネットで記事を見た。新聞や資料をこっちに送って欲しい」と。資源国アルゼンチンがバイオマスに着目し、首都ブエノスアイレスで環境省主催の講演会がある。大石さんはその講師を務めるという。

相変わらずの情熱と行動力に敬服。2010年6月、JICAのシニア海外ボランティアとして「地球最後の未開地」「嵐の大地」と呼ばれるパタゴニア地方に赴いたときを思い出す。

目的は中小企業経営や輸出相談。かつて大手商社の西独駐在員として50カ国以上飛び回り、ドイツ語まあまあ、英語は堪能。だが、アルゼンチンはスペイン語。約30年前のフォークランド紛争が今も尾を引き、「敵性語の英語は使わない方がいい」と忠告された。「JICAの2カ月間の研修でスペイン語の単語を1000語は覚えた。ま、大丈夫」と、地球の裏側へ。

昨年1月、2度目の赴任(2年間)。今度はアンデス山麓のサルタ州都。標高1200m、人口53万人。州政府中小企業局を拠点に「一村一品」運動を基にした産業振興などを指導。メールでは、仕事も私生活も充実し面目躍如。2月に一時帰国する。土産話が楽しみだ。



アルゼンチン・サルタ州のスタッフと一緒にの大石さん

経歴：毎日新聞記者。鹿児島支局長、経済部長、編集委員を経て2000年4月、日田赴任。

2013年 聖陵会総まとめ

- 1月 理事長誕生会
- 2月 GONGOVA2013参加
震災ボランティア参加
老健大会参加
- 4月 新人宿泊研修
- 5月 聖陵会観光祭
花月クリニックグランドゴルフ大会
聖陵会全体研修会
- 6月 岩里病院外来バス旅行
- 8月 岩里病院訪問看護ステーション開設
聖涼祭
- 11月 岩里病院 院内研修会
銀河ふれあい運動会
花月クリニックバス遠足
ドラゴンボート大会出場
- 12月 聖陵会クリスマス会
忘年会

編集後記

明けましておめでとうございます。宇宙を担当して2年、現メンバーでの編集は今号で最後となりました。発行期日に間に合わないことも多々あり、皆様にはご迷惑をおかけ致しました。すこしでも読んで下さった方の印象に残る記事をお届けできていれば嬉しいです。

さて、今年は午年ということで、聖陵会に馴染みの深い「馬」にたくさん触れ合える一年になるのではないかと思います！今年も聖陵会と広報誌宇宙を宜しくお願い致します。

広報委員会「宇宙」担当



医療法人 聖陵会

- ホームページ <http://www.seiryu.or.jp/index.html>
- E-mail seiryu@seiryu.or.jp

救急指定 聖陵岩里病院

介護老人保健施設 聖陵ストリーム

居宅介護サービスセンター

訪問介護サービスセンター

こども発達・支援センター銀河

聖陵花月クリニック

アンコール小児病院(カンボジア)